



ふじさわ

令和8年度7月号 No.4
富田林市立藤沢台小学校
TEL 0721-28-3771
FAX 0721-28-6824
校長 阪上 佐智子

「経験」と「人との関わり」

日々の学校生活の中で、私が子どもたちに大切にしてほしいと願っているのは、「たくさんの経験や体験」をすることです。教科書を開いて学ぶ知識はもちろん大切ですが、実際に自分の手で触れ、五感を使って体験したことは、生きた知恵へとつながっていきます。そして、多様な体験のなかでも、特に大きな価値があるのが「たくさんの人との関わり」です。学校という集団生活のなかは、楽しいことばかりではありません。

「自分の意見が通らなかった」

「使いたい道具をゆずってもらえなかった」

「やりたい役割ができなかった」



このように、「自分の思い通りにならないこと」に直面する場面が多々あります。しかし、実はこの経験こそが、子どもたちの心を育てる絶好のチャンスなのです。自分とは違う考えや気持ちを持つ仲間と過ごすなかで、子どもたちは「どうすれば、お互いに気持ちよく過ごせるのか」を考え始めます。時には我慢し、時には自分の気持ちを言葉で伝え、話し合いながら「折り合いをつけること」を学んでいくのです。「思い通りにならない経験」は、他者を思いやり、共に生きていくための「折り合いをつける力」を育むスパイスです。

時には悔しい思い・つらい思いをすることもあるかもしれません。そんなときは、ぜひご家庭でも「悔しかったね」とお子様の気持ちを受け止めつつ、「次はどうすればいいかな？」と、一歩前に進むための言葉をかけていただければ幸いです。

子どもたちが多くの人との関わり、折り合いをつけながら、たくましく、しなやかな心を育てていけるよう、これからも教職員一同、温かく見守り支えていきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

校長 阪上 佐智子

◎四角の中は、子どもたちも読んでくださいね。



友だちと なかよくするには、ゆずりあうこと、時には がまんすること、
気持ちを つたえあうことが 大切です。